

『プロデューサー様のお知り合い……  
そうでしたか、急な呼び出しだったので少々、驚きました』

『凛世さんにはぜひ一度我々の番組に  
出演していただきたいと思ひましてね』

『今日は凛世さんとお話できてよかったです  
プロデューサーさんのほうにも、  
是非にとお伝えさせていただきますね』

『うう……すみません……  
本当に、熱くて……』

『どうしました凛世さん？  
今日はもう  
お帰りいただけますか？』

『申し訳ございません、なぜか  
体がすごく熱く……』

『これはいけませんね  
そういうことでしたら  
一度交尾されていきますか？』

『は、は、は……』





某日、夏季休暇で人がいないのをいい事に  
やりたい放題の催眠が使える空き巣  
今回はお手製の媚薬をお茶に混ぜて交尾へ

『ふおおっ！ ふおおっ！  
ぶにたんがケツ穴ほじりおるわっ  
たまらんっ！腰浮くっ……！』

ひぢゃ  
ひぢゃ  
ひぢゃ  
ひぢゃ  
ひぢゃ  
ひぢゃ

しりり  
しりり

『んおおおっ！』

○学生みたいなおててっ股関に響くわっ  
こりゃいかんつもれるもれる！』

『おじさんの  
汚いとこそんな  
丁寧につ……！』

ひぢゃ  
ひぢゃ  
ひぢゃ

ひゅる  
ひゅる  
ひゅる

『ああだめだっつ！  
とりあえず一発射精すぞっ』

ひゅるっ

ひゅる  
ひゅる  
ひゅる

『ほらお口あーんして  
っふうううう……！』



『いっぱいごっくんできたねえ  
何も言わなくても自分からおまた広げて  
我慢できないんだね』

『は、はい……よろしければ  
そ、その……だ、男性のものを……中へ……』

『んー？これなんていうかちゃんと  
聞かせてくれるかなあ？』

『そ、そんな……は、恥ずかしい、です……』

『言えるまではお預けだなあ』

『あっそ、そんなっ  
手だけだなんて……切なくなつて……』

『お、おちんちん……』

『おちんちん  
欲しいです……』

『よく言えましたっ  
もう期待してるのが顔にでちゃって  
ほんとに可愛いねえ』

『お願いします……  
凛世の中、かき回して  
ください……』

『おおおっ入った！  
ちゅちゅえええ  
あつたけえ……！  
腰が勝手に動くわ！』

あつたけえ  
あつたけえ  
あつたけえ

お！お！  
お！お！

？！





『どうだい凛世ちゃんっ！  
はじめての中年おやじのちんこの味はっ！  
赤ちゃんの部屋ノックしてるのが  
わかるかいっ！』

『これから毎回のロリばい  
しやぶれるんだ、たまらんなあ』

『くはあああっ！興奮してもう射精るわっ！  
その未発達のロリボディでおじさんの  
赤ちゃん汁全部受け止めるよっ！』

『はい…凛世ので  
よろしければ、いつでも…』

『わかりますっ……っ  
奥っすごいっあっ……っ  
突いてっくださいっ……っ』

『おおおまだでるっ  
どうせ誰もこねえんだ  
このまま…晩中やり倒すからな』



『ふうふう……射精中のちんぽに  
むしやぶりつく大和撫子最高だぜ  
射精終わってんのに吸い付いて離さねえ』

『凜世ちゃん気に入ったよ、  
こないだの○学生といい  
ここはしほり甲斐があるやつが多いな  
「晩で終わらせるのはもったいないねえ……」』

